NEWS　RELEASE
SHOKO CHUKIN BANK

商工中金

2026年11月9日
商　工　中　金

株式会社プログレスの脱炭素投資を支援
～CN（カーボンニュートラル）ファイナンスを活用し温室効果ガス削減を後押し～

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の**大森支店**は、**株式会社プログレス**（本社：山梨県都留市、代表者：西村 央）に対し、脱炭素経営の推進に必要な資金として3億円を融資しました。

本融資には、お客さまの事業活動が環境・社会・経済の特定のテーマに与えるインパクトを評価し、KPIの達成に向けて継続的に支援する「インパクトファイナンス」のうち、気候変動の分野に焦点を当てた「CN（カーボンニュートラル）ファイナンス（※1）」を適用しています。なお、本件は、商工中金におけるCNファイナンス第1号案件です。

同社は、主に自動車部品に使用されるアルミダイカスト製品を製造しています。2030年までに温室効果ガス排出量を2021年度比42%削減する目標を掲げ、再生可能エネルギーの導入や環境負荷低減に向けた加工技術の研究開発に取り組んでいます。

商工中金は、**三菱重工業株式会社**（以下「三菱重工」）（※2）と連携し、現地訪問や経営者との対話を通じて、同社のMACカーブ（※3）を作成しました。脱炭素施策ごとのCO_2削減効果と実施コストを整理し、施策の優先順位を明確化することで、経済合理性と排出削減効果の両面を踏まえた削減計画の策定を支援しました。

同社は、策定した計画に基づき、設備投資や設備運用の改善などの脱炭素施策を進めます。今回調達した資金の一部は、コンプレッサーやフォークリフトなどの導入に活用し、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

商工中金は、CNファイナンスによる資金供給と継続的なモニタリングを通じて、同社の目標達成を支援してまいります。

【株式会社プログレスの概要】

所　在　地	山梨県都留市小野260
代　表　者	西村 央
資　本　金	9,000万円
従 業 員 数	151名（2026年3月時点）
設　　立	1954年5月
業　　種	アルミニウム・同合金ダイカスト製造業



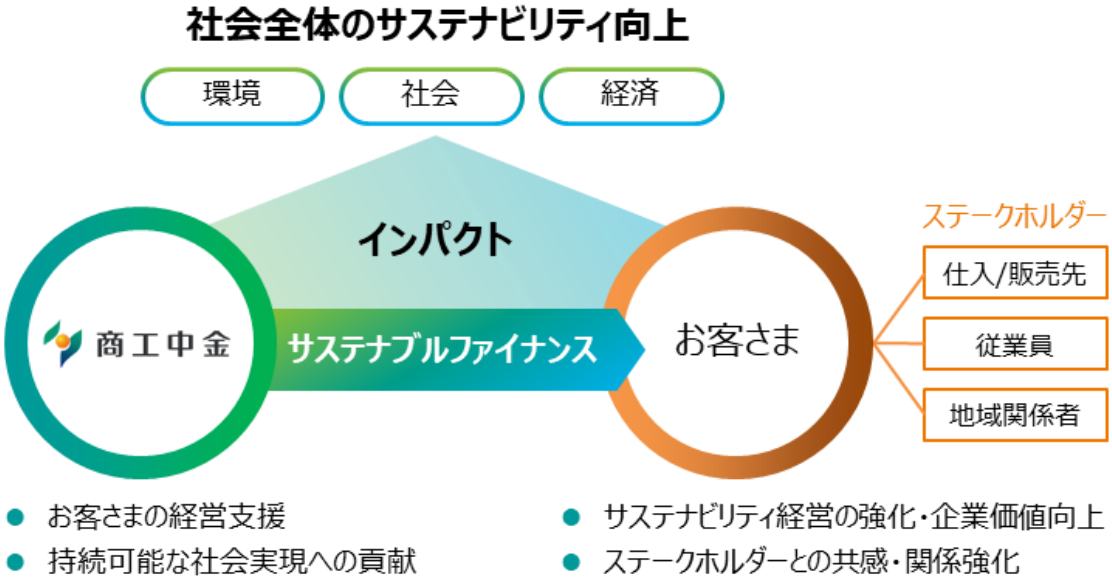
【同社　製品】

（※1）「インパクトファイナンス」および「CN ファイナンス」について

インパクトファイナンスとは、お客さまの事業活動が環境・社会・経済の特定のテーマに与えるインパクトを評価し、設定した KPI の達成に向けて継続的に支援を行う「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは環境省のガイドラインに適合しており、その適合性について商工中金または外部評価機関が評価を行い、透明性を確保しています。商工中金は、インパクトファイナンスのフレームワークを策定し、本フレームワークに基づく融資が国内原則等に適合していることについて、株式会社日本格付研究所から第三者評価を取得しています。

CN ファイナンスは、インパクトファイナンスのうち「気候変動」に焦点を当て、温室効果ガス排出量の把握から、削減目標・計画の策定、削減施策の実行までを一貫して支援する融資です。お客さまの取組状況に応じた KPI を設定し、その達成状況に応じて金利を優遇するとともに、融資期間中のモニタリングを通じて、脱炭素経営を伴走支援します。



（※2）三菱重工との連携について

2026 年 3 月、商工中金と三菱重工は、国内産業の成長と競争力強化を目的に、中小企業の脱炭素推進に向けた支援の枠組みを構築しました。商工中金の中小企業向け脱炭素支援のノウハウと、三菱重工が自社工場の脱炭素化を通じて培った省エネルギー技術等のノウハウを組み合わせ、MAC カーブを活用した削減計画の策定などを支援しています。

（※3）「MAC カーブ」について

MAC カーブ（Marginal Abatement Cost Curve：限界削減費用曲線）とは、温室効果ガスの削減施策ごとに、CO2 削減量と削減コストを整理し、一覧で示したものです。各施策の削減効果と経済性を比較することで、取り組む施策の優先順位の検討に活用できます。